

- 問1 発展途上国で作られた農作物などを購入する際、フェアトレード（公平貿易）の仕組みを取り入れる主な理由として最も適切なものを、次から選びなさい。（2021年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 途上国の生産者が不当に安く買い叩かれることを防ぎ、生活改善や経済的自立を支援するため。 | 2. 自国の農家を外国産の安い農産物との競争から守るために輸入制限を実施するため。 | 3. 先進国の企業が安い労働力を独占し、大量生産によるコスト削減を達成するため。 | 4. 関税を取り除くことで貿易額を最大化し、地球規模での市場競争を促すため。 |
|--|---|--|--|
- 問2 滋賀県が2050年までの実現を目指している「ネットゼロ」社会について、その内容を正しく説明したものはどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 温室効果ガスの排出量を、省エネルギーの徹底によって完全にゼロにすること。 | 2. 温室効果ガスの排出量と、森林などによる吸収量を等しくすることで、実質的な排出量をゼロにすること。 | 3. 二酸化炭素を排出する化石燃料の使用を禁止し、すべてのエネルギーを海外からの輸入に頼ること。 | 4. 工業製品の製造過程で発生する有害物質の排出を、自然界の浄化作用だけで完全に消滅させること。 |
|---|---|--|--|
- 問3 1997年に採択された京都議定書において定められた、地球温暖化を防止するための国際的なルールの特徴として、最も適切な説明はどれかを選びなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 二酸化炭素の排出を全面的に禁止し、世界全体で化石燃料の使用を停止することを決定した。 | 2. 経済成長を優先させるため、発展途上国に対してのみ温室効果ガスの削減目標を義務付けた。 | 3. これまでの排出責任を考慮し、先進国に対してのみ温室効果ガスの削減目標を義務付けた。 | 4. 先進国と発展途上国の区別なく、すべての国に対して一律の数値目標を義務付けた。 |
|---|---|--|---|
- 問4 地球温暖化の進行や資源の枯渇といった課題に対応するため、国際社会で共有されている、現在の世代が自らのニーズを満たしつつ、将来の世代が幸福を享受できる能力を損なわないように配慮した社会のあり方を何といいますか。（2018年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 持続可能な社会 | 2. 高度経済成長社会 | 3. 大量消費主導社会 | 4. 国際協調型福祉社会 |
|------------|-------------|-------------|--------------|
- 問5 地球の表面から放射される熱を吸収し、大気を温める性質を持つ気体は、地球温暖化を引き起こす主要原因とされています。近年、この気体の排出量を抑制することが国際的な課題となっていますが、二酸化炭素などに代表されるこれらの気体の総称を何と呼びますか。（2015年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 温室効果ガス | 2. 硫酸酸化物 | 3. フロンガス | 4. 窒素酸化物 |
|-----------|----------|----------|----------|
- 問6 フェアトレード（公正な貿易）の取り組みにおいて、途上国の生産者の生活を守るために設定されている価格の特色として、最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 為替相場の変動による損失を補填するために設定される、毎月更新の「変動価格」 | 2. 先進国の消費者が購入しやすいように設定される、国際価格よりも安価な「特別価格」 | 3. 世界貿易機関（WTO）が加盟国に一律で義務付けている、世界共通の「固定価格」 | 4. 生産者の生活を支援するために設定される、国際価格に左右されない「最低価格」 |
|--|--|---|--|
- 問7 日本の空港建設において、内陸部ではなく海上という立地を選択する背景にある「騒音対策」の仕組みとして、適切な説明はどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 海上は風が強いので、航空機のエンジン音を風下へ押し流し、都市部へ音が届かないようにする仕組み。 | 2. 空港を市街地から遠ざけ、飛行経路が住宅地の上空を通らないようにすることで、騒音の被害を物理的に回避する仕組み。 | 3. 滑走路を海面に近づけることで、航空機のエンジン音が海水に吸収され、周囲に音が響かなくなる仕組み。 | 4. 埋め立て地を巨大な防音壁として機能させ、地下に設けた滑走路から航空機を離着陸させる仕組み。 |
|--|--|---|--|
- 問8 国際会議においてクロマグロなどの漁獲枠が決定された際、そのルールを遵守するために漁業の現場で行われている具体的な行動として、適切なものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 資源が減少している魚種の輸出を促進し、国内の在庫をなくす | 2. 漁獲量を制限する代わりに、他国から無制限に魚を輸入する | 3. 漁獲枠を守るため、その年に獲った魚をすべて廃棄処分する | 4. 網に多くかかった魚を、決められた漁獲枠を超えないように海へ逃がす |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
- 問9 経済のグローバル化が進むなか、発展途上国で生産された農産物や製品を、単に安価に取引するのではなく、生産者の生活向上や自立を支援するために、継続的に適正な価格で取引する仕組みを何といいますか。（2023年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------|---------|---------|---------|
| 1. 国際フェアトレード認証 | 2. 保護貿易 | 3. 自由貿易 | 4. 地産地消 |
|----------------|---------|---------|---------|
- 問10 南北問題に関連して、近年では発展途上国の中においても、新興工業経済地域（NIES）や石油輸出国機構（OPEC）加盟国のように経済発展を遂げた国と、依然として貧困に苦しむ後発開発途上国との間で経済的な格差が広がっています。このような「発展途上国どうしの間に生じる格差」を指す言葉を選びなさい。（2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 経済摩擦 | 2. 北北問題 | 3. 南南問題 | 4. 垂直分業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 1997年に日本の京都市で開催された第3回気候変動枠組条約締約国会議（COP3）で採択され、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減目標を先進国に対して義務づけた国際的な協定の名称を次の中から選びなさい。（2019年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|---------------|------------|
| 1. パリ協定 | 2. 京都議定書 | 3. モントリオール議定書 | 4. ラムサール条約 |
|---------|----------|---------------|------------|
- 問12 大分県姫島村では、ジオパークでの地層観察や渡り蝶であるアサギマダラの観察、地域の七不思議伝説巡りなどを組み合わせた観光プランが実施されています。このように、地域の自然や歴史を活かした体験を通じて環境の保全への意識を高める観光の取り組みを何といいますか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|--------------|---------|------------|
| 1. バリアフリー | 2. グリーンツーリズム | 3. 産業観光 | 4. エコツーリズム |
|-----------|--------------|---------|------------|
- 問13 日本のエネルギー供給において、再生可能エネルギーの導入をさらに進める際に考慮すべき点として、その仕組みや特徴をふまえて正しく説明しているものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 太陽光や風力による発電は、自然条件の影響を受けやすいため、電力不足を防ぐには他の発電方式や蓄電技術との組み合わせが必要である。 | 2. 再生可能エネルギーは二酸化炭素を大量に排出するため、排出権取引の制度を活用してコストを抑える工夫が求められる。 | 3. 風力発電や太陽光発電は、天候が悪くても一定の電力を供給し続けることができるため、ベースロード電源として最適である。 | 4. 再生可能エネルギーによる発電は、火力発電などと比較して、人間の意図した通りに需要に応じた出力調節を行うことが非常に得意である。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 途上国の生産者が不当に安く買い叩かれることを防ぎ、生活改善や経済的自立を支援するため。	従来の貿易では、発展途上国の生産者が弱い立場に置かれ、製品や原料が不当に安く買いたたかれることが問題となっていました。フェアトレードは、適正な価格で取引を続けることで、生産者の生活改善や経済的自立を支援することを目的としています。
問2	答え 2 温室効果ガスの排出量と、森林などによる吸収量を等しくすることで、実質的な排出量をゼロにすること。	地球温暖化の主な原因となる温室効果ガスについて、人間活動による排出量から、森林保全などによる吸収量を差し引いて、全体として「ゼロ」の状態にすることを指します。排出量を物理的に完全に無くすのではなく、排出された分を吸収量で補う「実質的なゼロ」を目指す考え方です。
問3	答え 3 これまでの排出責任を考慮し、先進国に対してのみ温室効果ガスの削減目標を義務付けた。	京都議定書の大きな特徴は「共通だが差異ある責任」という考え方に基づき、産業革命以降に多量の温室効果ガスを排出してきた先進国の責任を重く見た点にあります。そのため、先進国には法的拘束力のある数値目標が課されましたが、発展途上国には義務が課されませんでした。この仕組みは、その後の国際交渉における先進国と発展途上国の対立の火種にもなりました。
問4	答え 1 持続可能な社会	1980年代に提唱された「持続可能な開発」の概念に基づく考え方です。地球規模の環境問題が深刻化する中で、現代の利便性だけを追求するのではなく、未来の人々も豊かな生活を送れるよう、環境・社会・経済の調和を目指す姿勢が重要視されています。
問5	答え 1 温室効果ガス	二酸化炭素やメタンなどの気体は、太陽から届く熱を地表に留まらせる「温室」のような役割を果たします。これらが増えすぎると地球全体の気温が上昇し、気候変動や海面の上昇といった深刻な環境問題を引き起こすため、世界中で排出削減の取り組みが進められています。フロンガスは主にオゾン層の破壊、硫酸化物や窒素酸化物は酸性雨の原因物質であり、性質が異なります。
問6	答え 4 生産者の生活を支援するために設定される、国際価格に左右されにくい「最低価格」	フェアトレードの最大の特徴は、弱い立場にある生産者に対し、正当な対価を支払うことです。国際市場での取引価格は、天候や投機的な要因で大きく変動しますが、フェアトレードによる買い取り価格は一定の最低ラインを下回らないように設定されています。これにより、生産者は将来の見通しを立てて生活や生産活動を継続することが可能になります。
問7	答え 2 空港を市街地から遠ざけ、飛行経路が住宅地の上空を通らないようにすることで、騒音の被害を物理的に回避する仕組み。	海上空港の最大の目的の一つは、騒音被害の軽減です。市街地に隣接する空港では、離着陸のたびに発生する騒音が周辺住民の健康や生活を脅かすることがありますが、海上に空港を配置すれば、離着陸のルートを海の上に設定できるため、居住区への騒音負荷を大幅に減らすことが可能になります。
問8	答え 4 網に多くかかった魚を、決められた漁獲枠を超えないように海へ逃がす	国際的な資源管理の枠組みでは、国ごとに年間の漁獲量の上限が割り当てられます。現場の漁師は、網に制限以上の魚がかかってしまった場合でも、それを海に逃がすなどして決められた枠（ルール）を守ります。このように、国際会議での合意を実際の生産現場で実行することで、資源の回復と持続可能な漁業が成り立っています。
問9	答え 1 国際フェアトレード認証	発展途上国の生産者が経済的に自立し、持続可能な生産を続けられるよう、不当に安い価格での取引を避ける仕組みです。この取り組みは、貧困の解消や児童労働の防止、さらには環境保護にもつながるため、持続可能な社会を実現するための重要な役割を担っています。
問10	答え 3 南南問題	もともとの南北問題は「先進国と発展途上国」の格差を指していましたが、発展途上国（南）の中でも経済成長のスピードに差が出たことで、途上国間での新たな格差が浮き彫りになりました。これを南南問題と呼び、国際社会の新たな課題となっています。
問11	答え 2 京都議定書	1997年に採択されたこの協定は、世界で初めて温室効果ガスの削減義務を明文化した歴史的な合意です。名称は開催地にちなんでおり、2005年に発効しました。のちにすべての国が参加する「パリ協定」へと発展する重要なステップとなりました。
問12	答え 4 エコツーリズム	姫島村の事例のように、地層や希少な生物といった地域の自然資産を壊さずに観察し、学習の対象とする活動はエコツーリズムの代表的な具体例です。単なる見学に留まらず、地域の環境や歴史の価値を再発見し、保全に繋げようとする点が大きな特徴です。
問13	答え 1 太陽光や風力による発電は、自然条件の影響を受けやすいため、電力不足を防ぐには他の発電方式や蓄電技術との組み合わせが必要である。	再生可能エネルギーの導入拡大には、その「不安定さ」を補う対策が不可欠です。太陽光や風力は自然条件によって出力が大きく変わるため、出力の調節がしやすい火力発電や、電気を貯めておく蓄電池、あるいは広域的な電力融通などと組み合わせることで、社会全体の電力供給の安定を図る必要があります。二酸化炭素を排出しないというメリットを活かしつつ、弱点を補う仕組み作りが求められています。